

2014年7月25日

2014年度第1回研究会（通算第55回）

1, ネコの頸部皮下毛包ユニットに対するホメオパシーによる治療効果

ドリトル動物病院 綿貫和彦先生

スコッティッシュフォールド 2才11ヶ月 去勢済♂ 体重4.02kg。頸部皮下に1×0.5cmほどの腫瘍が認められた。ホメオパシーでの治療を依頼された。ニードルバイオブシーでは毛包ユニットの集まったものの過形成と診断された。

2013/09/25～2014/01/17

Silica 30c 週に4日投与したところ縮小が見られた。12月から時々鼻血があるとの主訴。

2014/01/17～03/31

Phosphorus 30c

2014/04/07～07/24

Silica 30c 7/24 腫瘍が消失した。

2, ペット中医学研究会の症例検討会について

ペット中医学研究会の症例検討会が9月21日、福岡市で行われることになった。

本研究会ではこの症例検討会を全面的に支援し、会員は症例を提供することになった。

次回の研究会は9月に予定されていたが、症例検討会が9月21日に行なわれるので、本会の例会は中止する。